



県学給だより

令和5年度における 学校給食用物資の動向予測について

令和元年度3月に新型コロナウイルス感染症を踏まえ、全小・中・高・特別支援学校等の休校要請が発信され早3年が経過する、令和4年度末を迎えることになりました。

その間、コロナ株も変化を繰り返し何度も「ピーク」という言葉を聞き、現在8波との情報も入ってきます。このような状況の中、食材、食品の値上がりが止まる気配すら感じられません。

令和3年度秋口から食料品の値上げが始まり、4年度3学期までに再値上げ、再再値上げ、再々再値上げと、上昇気流に乗ったかのような状況であると感じ、なかなか下降する態勢には入れないのかなと考えられます。

値上がりの理由については、昨年度の本誌「No250号」で伝えた状況に加え、ロシアのウクライナ侵攻による小麦粉の国際相場の上昇等、新たな要因が加わったことも見逃せません。

国内で大きな影響が出たのが、学校給食には欠かせない学校給食用牛乳の年度中途での値上がりであり、過去になかった状況を令和4年度初めて経験することとなりました。

なお、現在の諸問題にも食料品に係る値上がり要素を見逃せません……

◎ 防衛力の抜本的強化に伴う増税

◎ 相対的に立場が弱く賃金も低い非正規雇用労働者の賃上げ待遇改善

◎ 日銀総裁交代による「異次元金融緩和」の維持か？ 軌道修正か？ など

今後の物価動向について、値上がるか？ 据え置きか？ あるいは……？ 非常に判断が難しい状況です。

ただし、市販向け食品については、既に2月当初から値上げが続いている状況です。また、価格据え置き優先で内容を小型化する実質値上げが進んでいるのも見逃せないところです。

学校給食用食材価格の新年度からの値上がりは必至です。

このような状況の下、令和5年度の価格動向を予測するのは極めて困難なことではありますが、本県学校給食会が収集した範囲内で情報提供いたします。

令和5年度の学校給食費の見直しと予算建て材料として役立てていただければ幸いです。

1 基本物資

(パン・めん・精米・米飯・米加工品等)

(1) 学校給食用小麦粉

輸入小麦の政府売渡価格は、価格変動制(年2回、4月期・10月期)を導入している。

売渡価格は、改定ルールに基づき、輸入小麦の直近6か月間の平均買付価格を基に算定している。(穀物の国際相場、海上運賃、為替等の動向を反映した買付価格)

小麦の買付価格の急激な変動の影響を緩和するため、今般、緊急措置として、通常6か月間の算定期間を1年間に延長して平準化することとし、その間、令和4年10月期の政府売渡価格は令和4年4月期の価格を適用し「据置き」となった。

今後の為替動向、国際情勢、小麦の作柄、産地の天候要因などによって価格の傾向は変化するとみられるが、現状では全体的に上昇傾向が続くとみられる。

国内産麦については、令和4年産と令和5年産の価格を勘案し、輸入麦の価格改定と連動した事後調整により決定されるため、価格上昇が見込まれる。

これに基づき、3月に県内の製粉工場3社による指名競争入札を実施し、学校給食用小麦粉価格(強力粉・中力粉)を決定することとなる。

ア. 学校給食用米粉パン

パンは県産米粉20%を配合した「米粉パン(岡山っ子こめこパン)」を供給している。



令和4年度産温州みかんは、九州では「裏年」和歌山県や静岡県では「表年」にあたり、全体の収穫量は令和3年度産より約7千トン下回る74万2千トンとなる見込である。九州産のサイズは着花数が少なかったことで、1つ1つの実に栄養が行き渡るようになり、大玉傾向となった。特に2L～3Lの数が多くS～Mサイズの収穫量が少なく、糖度は例年並みで酸味が平年より強いことが令和4年度産の特徴である。令和3年度九州産は傷が多く見られたが、令和4年度九州産は台風の影響がほとんどなかったため、傷は少なく、九州

産青果向け価格は、例年なら25～30円/個で推移するが、令和4年度産は40円/個となり高騰している。そのため、令和5年度価格は高値が予測される。

6 保護者負担の学校給食費

令和5年度の学校給食費は、令和4年度当初と比較して、自校炊飯では8.6%、委託炊飯では8.8%程度の増額を見込む必要があると予想される。

表1 学校給食費の平均月額

区分		年度	28年度		30年度		3年度	
			平均月額(円)	上昇率(%)	平均月額(円)	上昇率(%)	平均月額(円)	上昇率(%)
全国平均	小		4,323	0.5	4,343	0.5	4,477	3.1
	中		4,929	0.2	4,941	0.2	5,121	3.6
岡山県平均	小		4,691	△0.5	4,775	1.8	4,819	0.9
	中		5,285	△0.2	5,371	1.6	5,557	3.5

表2 令和4年度1食当たりの平均価格

区分	小学校	中学校
主食(米飯・パン・めん)	48円53銭	56円80銭
牛乳	56円30銭	56円30銭
副食	177円39銭	214円36銭
合計	282円22銭	327円46銭

(注)岡山県教育委員会調査の一食あたりの平均単価をもととした岡山県学校給食会の推計。

表3 学校給食費の内訳別上昇見込率

区分	小学校			中学校		
	令和4年度 構成比(%)	令和5年度見込比率(%)		令和4年度 構成比(%)	令和5年度見込比率(%)	
		自校炊飯	委託炊飯		自校炊飯	委託炊飯
主食(米飯・パン・めん)	17.2	104.3	105.4	17.3	104.3	105.4
牛乳	19.9	109.6	109.6	17.2	109.6	109.6
副食	62.9	109.5	109.5	65.5	109.5	109.5
合計	100.0	108.6	108.8	100.0	108.6	108.8

(注) 1.岡山県学校給食会で独自に推計したものである。
 2.主食の週当たりの実施回数は、米飯3.00回 パン1.31回 めん0.69回 と推定した。
 3.牛乳は令和4年度期中値上げ2円を県補助金で対応したが、令和5年度は補助予定がないため大幅な値上げが予想される。
 4.副食は、それぞれ原料等の動向により値上げ幅は異なるが、現時点での単純平均変動を推計したものである。